

令和4年度博物館本館展示計画（案）

展示会名	備考
収蔵品展 「博物館お宝展 博物館職員全員集合！選ばれたお宝とは」 開催期間：4月～6月	博物館の収蔵品の中から、学芸員をはじめ博物館職員が選んだ逸品を一挙公開する。
企画展 藤子不二雄@の世界 開催期間：7月～8月	島田市と姉妹都市の関係にある氷見市(富山県)出身の藤子不二雄@の原画、マンガ、制作道具などを展示する。 ⇒または「香川元太郎の迷路」
企画展「島田宿と大井川の川越し Part2」 開催期間：9月～11月	大井川の川越しを、島田宿と川越しの関係を中心に紹介する。
企画展 「たゆたう刃文 きらめく沸 一相州・備前と島田鍛冶」 開催期間：12月～3月	一般に、島田鍛冶は相州風の作風が知られているが、その最初期の作品には備前鍛冶に似るものがあるという。本展覧会では、島田の刀剣と、その比較対象として相州・備前の刀剣を展示し知られざる島田鍛冶のルーツにせまる。
企画展に係る催し物 ・学芸員によるギャラリートーク ※その他、各企画展ごとに講座やワークショップ等の関連イベントを立案予定 そのほかの催し物 ・博物館講座 ・無料開放日体験学習(こどもの日、県民の日、文化財ウィーク協賛、富士山の日) ・夏休み体験学習 ・しまはくワークショップ(わくわくアトリエ、ちょっと昔のおもしろ体験) ・機織り体験 ・おもちゃ病院	

2022年度 分館 記念館展示案

※海野光弘版画の展示が、あくまで主軸。

・第1回(春) 「遊びごころ ころころ」

双六の作品（染物の風呂敷）、ほか**楽しさがじんわりとわく**作品展示。
版画作品中にも、こんなところにこんな人物が！とか、構図の面白さなど、「あそびごころ」と解釈できるもので構成

・第2回(夏) 「天と地の間に — 笠のある風景」

海野作品の特徴の一つに風景の中の人物、特に**外で働く人**が多く描かれていることから、象徴的な **笠** をテーマに展示。

* 笠のある作品 別紙参照

・第3回(秋) 「耳をかたむける — 海野さーん、教えて！」

プロデビュー前の作品 を含む展示

本や、人のお話から海野氏のお人柄を知ることができるものを、展示に入れる。エピソード付き略歴制作。日記+絵も使用。

・第4回(冬) 「想いを彫る」 — 版木と作品

「期待を彫る」 や 「未来を彫る」もタイトル候補。
版木や彫刻刀など制作につながる実物 と完成作品の展示。
手を動かす仕事が見えるようにする。